

1

2

# 恒久平和に貢献する沖縄ビジョン（仮称）

－ 戦後100年に向けて「平和の懸け橋」として行動している沖縄の姿 －

（素案）

令和 8 年 〇 月

沖 縄 県

## 目次

1		
2	1	はじめに..... 2
3		(1) ビジョンを策定する目的..... 2
4		(2) ビジョンにおける平和の捉え方について..... 3
5		(3) 沖縄が平和を希求する背景..... 3
6		(4) ビジョンの位置づけ..... 3
7		(5) ビジョンの期間..... 4
8		(6) ビジョン策定までの経緯..... 4
9	2	世界の人々に向けたメッセージ..... 5
10	3	恒久平和に貢献する沖縄の将来像..... 6
11		(1) 恒久平和に貢献している戦後100年の沖縄の将来像... 6
12		(2) 「平和の懸け橋」として行動している姿..... 6
13	4	沖縄の行動が恒久平和に貢献していくイメージ..... 8
14	5	将来像の実現に向けた沖縄の行動の方向性..... 9
15		(1) 沖縄戦の記憶の継承と平和意識の向上..... 9
16		(2) 体系的な平和学習と平和の継承に必要な人材育成... 10
17		(3) ネットワークの構築と信頼醸成..... 11
18		(4) 平和構築に向けた情報収集と発信..... 12
19		(5) 沖縄平和賞と主体的な国際協力..... 12
20	6	ビジョンの実現に向けた推進体制..... 14
21		(1) 庁内体制と関連施設の強化..... 14
22		(2) 新組織と財政基盤の充実..... 14
23		(3) 県内外におけるネットワークの構築..... 14
24		

# 1 1 はじめに

## 2 (1) ビジョンを策定する目的

3 戦後80年以上が経過し、戦争の記憶の風化が懸念される中、沖縄  
4 戦の実相と教訓を正しくかつ時代の要請に見合った形で次世代に  
5 継承することがこれまで以上に重要になっています。

6 国際情勢に目を向けると、東アジアの地域では軍事的緊張と経  
7 済的な結びつきが併存するなど一層複雑さを増しているほか、世  
8 界各地では戦争や武力紛争が後を絶たず、国際社会の協調や秩序  
9 が揺らいでいます。

10 このような現状認識の下、沖縄県は、戦後100年（2045年）を見  
11 据えた長期的視点に立ち、沖縄の平和、ひいては世界の恒久平和に  
12 貢献する取組を県民一丸となって推進するため「恒久平和に貢献  
13 する沖縄ビジョン（仮称）」を策定します。

14 平和あってこそ暮らし、平和あってこそ経済というように、  
15 「平和」は社会の礎です。しかし、平和は当たり前存在するもの  
16 ではなく、世界の人々の努力によって創り、守らなければならない  
17 ものです。一人一人の思いや行動は、たとえ微力でも確実に世の中  
18 を変えていく力があります。

19 本ビジョンは、先人から脈々と受け継いできた「万国津梁の精神  
20 <sup>1</sup>」と「平和を希求する沖縄のこころ<sup>2</sup>」を持って、アジア・太平洋  
21 地域をはじめ世界の恒久平和の実現に必要と考える“記憶と人と  
22 知”をつなぐ「平和の懸け橋」としての沖縄県の役割と決意を県民  
23 をはじめ世界の人々に向けたメッセージとして表明するものです。

---

<sup>1</sup> 「万国津梁の精神」とは、沖縄の地理的特性を生かして、アジア・太平洋地域の緊張緩和と信頼醸成のために、積極的な役割を担っていくことを目指す精神とする。

<sup>2</sup> 「平和を希求する沖縄のこころ」とは、人間の尊厳を何よりも重く見て戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心である。

## 1 (2) ビジョンにおける平和の捉え方について

2 本ビジョンにおける平和とは「狭義の平和」と「広義の平和」の  
3 2つの独自の概念を指すこととし、「狭義の平和」は戦争や武力紛  
4 争がない状態、「広義の平和」は貧困、暴力、人権の抑圧、差別、  
5 環境破壊等がなく人間の尊厳を何よりも重く見る人間の安全保障  
6 が確立された状態として捉えることとします。

7 貧困、暴力、人権の抑圧、差別、環境破壊等は人間の尊厳ある生  
8 活を阻害するものであり、これらが悪化すれば社会不安が起こり、  
9 戦争や武力紛争を引き起こす要因となります。これまで、県民の安  
10 全・安心な生活は大国や周辺地域の社会情勢の影響を受けてきま  
11 した。そのため、沖縄県は「狭義の平和」はもとより、県民の安全・  
12 安心な生活にも関わるアジア・太平洋地域の「広義の平和」にも貢  
13 献していくことを目指していきます。

## 14 (3) 沖縄が平和を希求する背景

15 沖縄はかつて「万国津梁の島」として、近隣諸国との和を尊び、  
16 各国の文化を取り入れながら独自のソフトパワーを発展させ、諸  
17 外国との信頼関係を構築してきました。他方で、先の大戦では悲惨  
18 な地上戦で多くの住民の尊い命が奪われ、戦後の米国統治下では  
19 数多くの人権侵害を受けてきました。

20 そして、戦後80年以上が経過してもなお広大な米軍基地を抱え  
21 る中で基地に起因する事件・事故は県民生活に重大な影響を及ぼ  
22 しているほか、軍事的な緊張の高まりや不測の事態により沖縄が  
23 攻撃目標となることは決してあってはなりません。

24 こうした歴史的背景と現状を踏まえ、沖縄県は、我が国の外交を  
25 推進していく上で国の重要なパートナーに位置づけられる地方公  
26 共団体として、住民が安全・安心の中で豊かに生活していくための  
27 前提となる平和構築の在り方を探求していきます。

## 28 (4) ビジョンの位置づけ

29 本ビジョンは、沖縄県の総合的な基本計画である「新・沖縄21世  
30 紀ビジョン基本計画」で定める平和分野の施策をリードする理念

1 としてのメッセージと将来像、そして、その将来像を具現化してい  
2 くための方向性を示す指針として位置づけることとします。

3 また、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」や「沖縄県地域外交  
4 基本方針」と整合をとりながら、関係部局で理念を共有し、施策の  
5 一貫性を確保することで、関連施策の相乗効果を高めるための指  
6 針としていきます。

#### 7 (5) ビジョンの期間

8 本ビジョンの期間は「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の終期  
9 に合わせて2031年度（令和13年度）までとし、期間内に戦後100年  
10 （2045年）の将来像の実現に向けてバックキャストिंगの考え  
11 方により平和関連施策を展開していきます。

#### 12 (6) ビジョン策定までの経緯

13 本ビジョンは、沖縄県が令和6年12月に設置した恒久平和に貢  
14 献する万国津梁会議からの提言書（令和7年11月）を基に、パブリ  
15 ックコメントに寄せられた意見を反映させて策定しています。

## 1 2 世界の人々に向けたメッセージ

2 沖縄県は、県民一丸となって、先人から受け継いだ「万国津梁の  
3 精神」と「平和を希求する沖縄のこころ」を携えて、世界の恒久平  
4 和に貢献する決意を表明します。

5 私たちが目指すのは、戦争や武力紛争の回避はもとより、人間の  
6 尊厳を何よりも重く捉え、貧困、暴力、人権の抑圧、差別、環境破  
7 壊といった「構造的な暴力」を克服し、すべての人が安全・安心で  
8 幸福が実感できる「人間の安全保障」の確立です。

9 そのために、私たちは、沖縄独自の歴史的経験と精神文化をいか  
10 し、“記憶と人と知”をつなぐ「平和の懸け橋」として、沖縄戦の  
11 ような悲惨な戦争を二度と繰り返さないという「不戦」を誓い、人  
12 間の安全保障を脅かすあらゆる戦争などに反対する「反戦」を訴  
13 え、平和的な外交・対話による緊張緩和や信頼醸成などの「非戦」  
14 による問題解決の道を探求していきます。

15 このビジョンの実現こそが戦争で犠牲となった尊い命への最大の  
16 報いであり、未来を生きる子どもたちに対する我々の普遍的な  
17 責務だと考えています。

### 1 3 恒久平和に貢献する沖縄の将来像

#### 2 (1) 恒久平和に貢献している戦後100年の沖縄の将来像

3 沖縄は、かつて「万国津梁の島」として近隣諸国との和を尊び、  
4 諸外国との信頼関係を築いてきました。しかし、先の大戦では悲惨  
5 な地上戦により多くの住民の尊い命が奪われ、戦後の米国統治下  
6 では数多くの人権侵害を受けてきました。そして、現在は大国や周  
7 辺地域の軍事的緊張の影響を受ける状況下に置かれています。

8 こうした歴史的背景と現状を踏まえ、沖縄県は、我が国の外交を  
9 推進していく上で国の重要なパートナーに位置づけられる地方公  
10 共団体として、県民をはじめアジア・太平洋地域の人々、そして世  
11 界の人々が、安全・安心で幸福を実感しながら生活していけるよ  
12 う、「戦争・武力紛争がない社会構築」と「アジア・太平洋地域の  
13 人間の安全保障の確立」に向けて国際社会と連携しながら貢献し  
14 てくことを目指し、以下の将来像を設定します。

#### 15 【戦後100年（2045年）の沖縄の将来像】

16 『沖縄県が、県民一丸となって、先人たちから脈々と受け継いで  
17 きた「万国津梁の精神」と「平和を希求する沖縄のこころ」を持っ  
18 て、アジア・太平洋地域をはじめ世界の恒久平和の実現に向け、  
19 “記憶と人と知”をつなぐ「平和の懸け橋」としての役割を担い、  
20 行動している姿が、国際平和創造拠点及び国際協力・貢献拠点とし  
21 て世界から認知されている。』

#### 22 (2) 「平和の懸け橋」として行動している姿

##### 23 【記憶の懸け橋としての行動】

##### 24 A 一人一人の行動に必要な「平和意識の醸成」

25 人々の心の中に揺るぎない平和の意識を醸成するために、沖縄  
26 戦と米国施政権下の戦後史等の実相や教訓を次世代に継承してい  
27 る。

1 **【人の懸け橋としての行動】**

2 **B 平和の発信力の強化と国際協力の基盤となる「ネットワーク構築」**

3 平和発信と国際協力の取組を推進していくために、国内外の地  
4 方公共団体、民間団体、NGO、国際機関等と重層的なネットワー  
5 クを構築している。

6 **【知の懸け橋としての行動】**

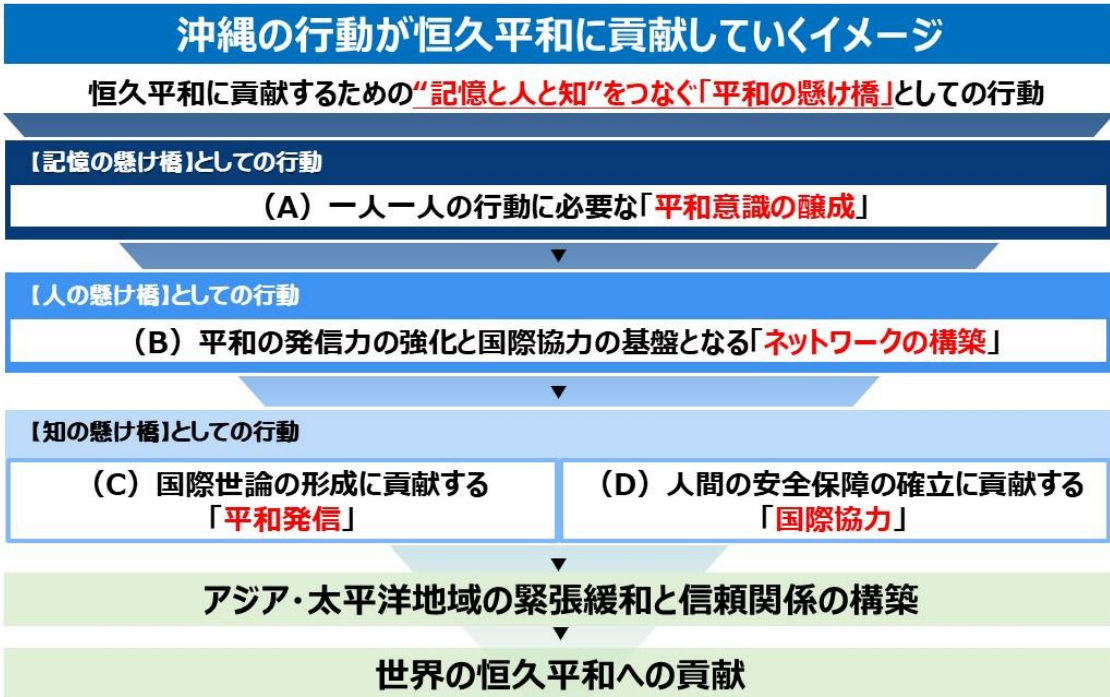
7 **C 国際世論の形成に貢献する「平和発信」**

8 平和的手法による安全保障のあり方や平和構築のモデルを世界  
9 に発信するために、恒久平和の構築に必要な情報を世界各地から  
10 収集し、新たな価値を生み出している。

11 **D 人間の安全保障の確立に貢献する「国際協力」**

12 人間の尊厳ある生活を阻害し、社会不安を引き起こす貧困、暴力、  
13 人権の抑圧、差別、環境破壊等がない社会の構築に貢献するため  
14 に、沖縄が有する知見や技術をいかした国際協力に取り組んでい  
15 る。

## 4 沖縄の行動が恒久平和に貢献していくイメージ



一人一人の行動に必要な平和意識を醸成しながら、行動の輪を国内外に広げるための重層的なネットワークを構築していきます。そして、構築されたネットワークを基盤に国際世論の形成と国際協力を推進していくことでアジア・太平洋地域の緊張緩和と信頼関係を深め、世界の恒久平和に貢献していくことを目指していきます。

## 1 5 将来像の実現に向けた沖縄の行動の方向性

2 恒久平和に貢献している戦後100年（2045年）の沖縄の将来像を  
3 実現するための行動の方向性を以下のとおり示します。

4 沖縄県の今後の平和関連施策は、本ビジョンで示す戦後100年  
5 （2045年）の将来像と行動の方向性を踏まえ、バックキャストイン  
6 グの考え方により「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（終期：2031  
7 年度（令和13年度）」等に反映させて展開していくこととします。

### 8 【記憶の懸け橋としての行動】

#### 9 A 一人一人の行動に必要な「平和意識の醸成」

#### 10 (1) 沖縄戦の記憶の継承と平和意識の向上

##### 11 ① 継続的な継承の取組

12 沖縄全戦没者追悼式の開催や平和の礎への追加刻銘、沖縄県平  
13 和祈念資料館での展示等による平和の継承については、時代の要  
14 請に応じた形で取り組んでいきます。

##### 15 ② 戦争遺跡の保存と活用

16 県内の戦争遺跡が戦争の悲惨さを世界に発信する「物言わぬ語  
17 り部」として国内外から価値が認められ保存・活用されていくた  
18 め、世界遺産の登録も見据えた取組を推進するとともに、関連施設  
19 との連携を図っていきます。

##### 20 ③ 平和な地域社会の実現と平和意識の向上

21 ちゅうちな一草の根平和貢献賞の表彰をはじめ、平和に関す  
22 るワークショップやシンポジウム等を県内外で開催していきます。

1 (2) 体系的な平和学習と平和の継承に必要な人材育成

2 ① 体系的なカリキュラムに基づく平和学習

3 県内の小中高校で多文化理解・共生の観点も含めた体系的な学  
4 習カリキュラムに基づき、中立性を保った質の高い平和学習を行  
5 っています。

6 ② 地域社会と連携した平和学習

7 地域社会と連携し、県内の児童生徒に平和を自分事として考え  
8 る機会を創出していきます。

9 また、若い世代を中心に、沖縄戦から米国施政権下の戦後史、現  
10 在の基地問題までの関連性を正確に学べる機会を提供していきま  
11 す。

12 ③ 「顔の見える国際交流」の推進

13 平和の構築に向けて先導的・主体的に行動する人材を育成する  
14 ため、県内の学生が国内外の若い世代や現地で活動する人々と平  
15 和をテーマに学び、交流し、その成果を政策提案する機会を提供し  
16 ていきます。

17 ④ 平和の継承に必要な担い手の育成

18 国内外の人々に沖縄戦や戦後史の実相を正しく伝えるため、語  
19 り継ぎ手、平和ガイド、学芸員等の担い手を継続的に育成してい  
20 きます。

1 **【人の懸け橋としての行動】**

2 **B 平和の発信力の強化と国際協力の基盤となる「ネットワーク構築」**

3 **(3) ネットワークの構築と信頼醸成**

4 **① 発信力の強化**

5 世界の県系人、沖縄で研修や在住の経験がある外国人、国際的メ  
6 ディア、国内外の若者等から平和を希求する沖縄のこころを発信  
7 してもらうための取組を推進していきます。

8 **② 平和を軸とする全方位の地域外交**

9 思想や政治体制にかかわらず全方位のスタンスで国内外の自治  
10 体や研究機関、平和関連施設等と連携・協働し、意見交換や情報発  
11 信等を積み重ねていきます。

12 **③ アジア地域における未来志向の平和交流**

13 アジア地域との交流においては、先の大戦で沖縄も加害者の立  
14 場にあった認識を持って臨み、歴史認識の形成過程に対する理解  
15 を深めていくとともに、住民視点による沖縄戦の悲惨さを世界の  
16 人々と共有していきます。

17 **④ 国際協力に向けた連携体制の構築**

18 沖縄と同様に米軍基地を抱える地域や不発弾・地雷の処理問題  
19 を抱える地域と連携体制を構築し、相互交流を図っていきます。ま  
20 た、国際協力のネットワークを有しているNGO・NPO等とパートナー  
21 として連携を図っていきます。

1 **【知の懸け橋としての行動】**2 **C 国際世論の形成に貢献する「平和発信」**

## 3 (4) 平和構築に向けた情報収集と発信

## 4 ① 平和に関する資料へのアクセスの向上

5 沖縄戦に関する調査研究を進めるとともに、県や市町村、大学等  
6 が有する沖縄戦や平和に関する資料に世界中から容易にアクセス  
7 できる体制を構築していきます。

## 8 ② 国際的な取組への参画と調査研究に基づく働きかけ

9 平和構築に貢献する国際会議の開催、国連等の国際機関と連携  
10 した発信、平和的手法による安全保障の議論を深める言論プラッ  
11 トフォームへの参画、アジア・太平洋地域の平和構築に資する国際  
12 機関の誘致、核兵器廃絶に向けた国際社会への働きかけ等に取り  
13 組んでいきます。

14 また、平和に関する調査研究を進め、関係政府等に対し「人間の  
15 安全保障」を含めた広義の平和の実現に向けた働きかけを行って  
16 いきます。

## 17 ③ 観光資源としての平和の活用

18 国内外の人々に恒久平和について考えてもらう機会を提供する  
19 ため、沖縄の戦争遺跡、平和関連施設、平和ガイド等を観光資源と  
20 して活用していきます。

21 **D 人間の安全保障の確立に貢献する「国際協力」**

## 22 (5) 沖縄平和賞と主体的な国際協力

## 23 ① 沖縄平和賞を通じた平和貢献

24 沖縄平和賞の認知度を向上させ、受賞団体の活動支援と広報啓  
25 発活動を展開していきます。

1      ② 主体的な国際協力・貢献活動の拡充

2            JICA等と連携・協働しながら、海外研修員の受入れ、海外協力派  
3 遣、具体的な国際協力案件への参画・協力等に取り組むとともに、  
4 海外の現場ニーズと県内の知見・技術のマッチングを実施しながら、  
5 関係者との継続的な関係づくりの仕組みを構築し、沖縄県によ  
6 る主体的な国際協力・貢献活動を質・量ともに拡充させていきま  
7 す。

## 1 6 ビジョンの実現に向けた推進体制

### 2 (1) 庁内体制と関連施設の強化

3 幅広い行政施策を推進するため、県庁内の関係部局の連携と、沖  
4 縄県平和祈念資料館の体制を強化していきます。

### 5 (2) 新組織と財政基盤の充実

6 本ビジョンを実現するため、中核組織としての「国際平和研究機  
7 構（仮称）」の創設と、長期的・安定的な取組や多様な主体の参画  
8 を促すための新たな基金の設置等に取り組んでいきます。

### 9 (3) 県内外におけるネットワークの構築

10 県内市町村や平和関連施設、さらには核兵器廃絶や恒久平和を  
11 発信する国内外の自治体とのネットワークを強化していきます。